

概要版

牟礼駅周辺整備計画



牟礼駅周辺整備の目的・目標

第一次飯綱町総合計画後期基本計画で示されているように、牟礼駅周辺整備の目的は、「牟礼駅周辺の通勤通学時間帯における交通渋滞を緩和し、町の市街地の活性化と鉄道の利用促進を図ること」であります。総合計画で示されている牟礼駅周辺整備の目的を本計画では、まちづくり・都市計画の視点からの目的として新たに設定しました。

《牟礼駅周辺整備の目的》

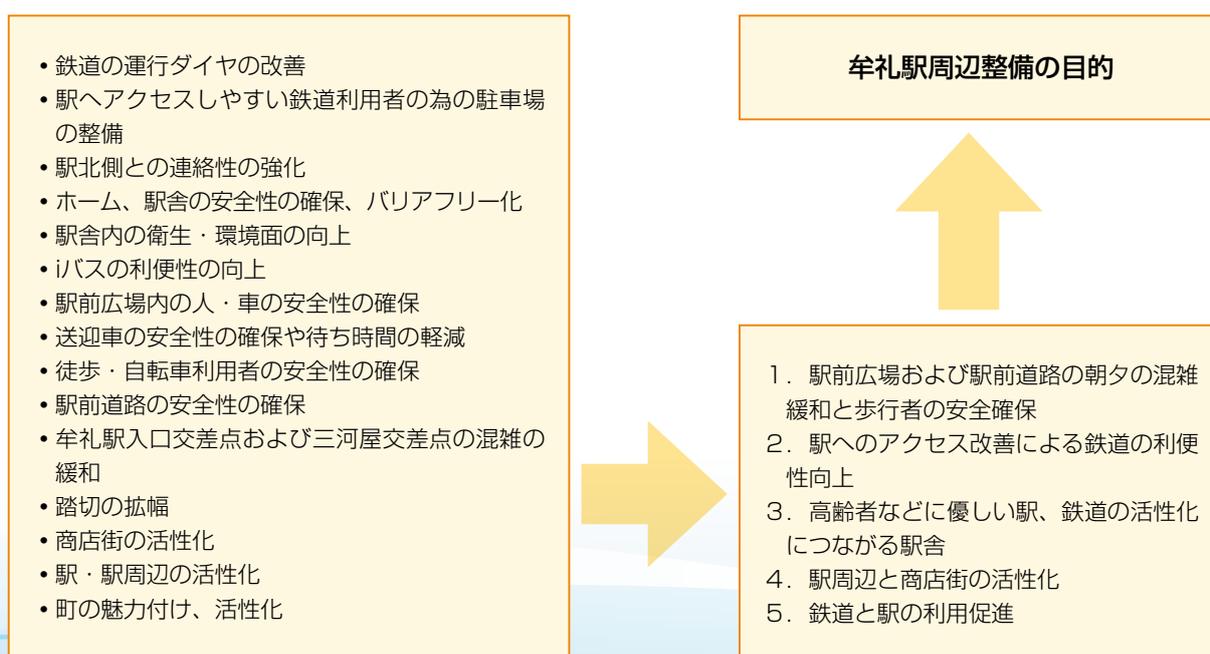
- 駅利用者や観光客等の利便性と安全性が備わった交通拠点の形成
- みんなが気軽に訪れ交流できる、元気で活力のある商店街の形成
- 地域資源を活かした鉄道・駅の利用促進

総合計画、現状把握、アンケート調査、ワークショップ等から牟礼駅周辺の問題・課題等の現状を認識した上で、本計画の目標を以下のとおり設定しました。

《牟礼駅周辺整備の目標》

1. 駅前広場および駅前道路の朝夕の混雑緩和と歩行者の安全確保
2. 駅へのアクセス改善による鉄道の利便性向上
3. 高齢者などに優しい駅、鉄道の活性化につながる駅舎
4. 駅周辺と商店街の活性化
5. 鉄道と駅の利用促進

整備の目的・目標の設定フロー



牟礼駅周辺整備に関する施策メニューの設定

(1) 整備施策の分類

整備施策はワークショップ等で提案された整備施策をもとに、各々技術的な課題や関係機関との調整、財政的課題、想定される整備時期等により「実施施策」と「検討施策」に分類し、各目標ごとに施策メニューとして設定します。

また、「実施施策」として分類された中にはほぼ同じ目的や効果の整備施策もあり、これらの施策については整備の可能性（実現性・難易度）の度合いから比較し、可能性が高い施策を「実施施策」、可能性が低い施策を「検討施策」として分類します。

「検討施策」として分類された整備施策は、「実施施策」とされた事業の整備効果や都市的状況、地域の活性化状況等に応じて、更なる整備が必要か検討して実施するか否かを判断していきます。

実施施策

短期・中期から施策の実施に向けた具体的な活動を始めるもの

検討施策

牟礼駅周辺の整備の状況、都市的状況、地域の活性化の状況等に応じて施策の必要性や妥当性、方向性を中期・長期にかけて検討するもの

■整備時期の考え方

整備時期は、施策の内容により異なってくることから「短期整備」「中期整備」「長期整備」の三つに分類し、それぞれの考え方は次のとおりです。

短期整備：平成25（2013）年度～平成26（2014）年度

鉄道の運営がしなの鉄道㈱に移行するまでの2年以内に実施可能な施策

中期整備：平成27（2015）年度～平成31（2019）年度

鉄道の運営がしなの鉄道㈱移行後からおおよそ5年以内に、関係機関との協議や調整を行う中で可能と考えられる施策

長期整備：平成32（2020）年度以降

将来の駅周辺の活性化状況や都市的状況に応じて、整備の必要性、妥当性、方向性を「中期整備」以降に検討することが妥当と考えられる施策

1. 駅前広場および駅前道路の朝夕の混雑緩和と歩行者の安全確保

整備時期	施策	内容
短期	●送迎時間の分散化	送迎による駅前の混雑を緩和するために、利用者に送迎時間を分散してもらう呼びかけを行っていく。
中期	◆キス&ライドのための駅前ロータリー整備	送迎の車の流れをスムーズにするために、駅前をロータリー化する。しかし、整備までに時間を費やすことからソフト的な施策を検討していく。また、駅前広場の修景、憩いの場を設ける等、駅を中心とした町の活性化につながる整備を検討する。
中期	◆国道18号牟礼駅入口交差点・踏切及び踏切以南の県道改良	朝夕の通勤通学時間帯における国道及び踏切、三河屋交差点周辺の交通渋滞による歩行者及び車の通行の安全を確保するため、踏切の拡幅と周辺道路の整備についての協議を進める。
中期	◆歩行者専用道路の整備（踏切以南から線路沿い）	朝夕の通勤通学時間帯における三河屋交差点周辺の交通渋滞を緩和するために、踏切以南から線路沿いに歩行者専用道路の新設を検討する。
長期	◆駅前傾斜地の整備	安全確保や多目的な利用施設スペースとするため、駅前傾斜地の整備を検討する。



今後の取組み課題等

利用者の意識に絡む部分が大きいため、意識の醸成に時間を要する。

ソフト施策（送迎時間の分散化）により混雑が緩和された場合は、同じ目的での整備の必要性は低くなることが予想される。また、駅前広場の整備は駅のあり方を位置づける整備であるため、将来の駅周辺の状況にあわせてその方向性を検討する。

（県）長野荒瀬原線や国道 18 号牟礼駅交差点の改良事業にあわせ、都市計画の視点から関係機関や地域住民との調整を図る必要がある。

駅前駐車場を新たに整備することにより、人の流れを検証したうえで、歩行者専用道路の必要性を踏まえ、商店街等地域住民や関係機関と調整を図る必要がある。

費用対効果を含め、将来の駅前広場やロータリー等の状況にあわせ、当整備の必要性や方向性を検討する。

（◆：ハード的施策 ●：ソフト的施策）（緑色：実施施策 橙色：検討施策）

2. 駅へのアクセス改善による鉄道の 利便性向上

整備時期	施策	内容
短期	◆駅前パーク &ライドのための 駐車場を整備	鉄道利用者の利便性向上を図るために、駅前にある JA ながの所有地と隣接する契約者駐車場を無料駐車場として整備する。
短期	● JA ながの駐 車場（飯綱支所 東側）の利用	JA ながの駐車場を鉄道利用者のために継続して利用していくことを、JA ながのに対して依頼していく。
中期	◆西口改札の設 置	朝夕の通勤通学の時間帯における国道 18 号方面や、JA ながの駐車場利用者による三河屋交差点の交通渋滞の緩和と高齢者等が駅の跨線橋を利用する負担を軽減するために、西口改札の設置について検討していく。
中期	●バスの利便性 向上	駅へのアクセスを向上させるため、iバスや定時定路線バスの利便性向上について検討する。
長期	◆駅周辺の総合 的インフラ整 備と駅前のバス ターミナル化	駅を町の交通拠点とすることで公共交通の利便性を向上させ、駅周辺が地域活性化につながるよう、駅前のバスターミナル化など総合的なインフラ整備を検討する。
長期	◆駅前傾斜地頂 上（佐軍神社周 辺）農地をパー ク&ライド駐車 場に整備	鉄道利用者の利便性向上を図るために、駅近くの駐車場をさらに確保することを検討する。（佐軍神社周辺農地を駐車場に整備）



今後の取組み課題等

関係機関との調整が必要である。

駅前駐車場の新設により人の流れを検証したうえで、西口改札の必要性を踏まえ、商店街等地域住民や関係機関と調整を図る必要がある。

施策の方向性を定め、関係機関との調整を進めていくことが必要である。

円滑で安全なバス運行のためには、駅周辺の道路拡幅など総合的なインフラ整備が必要であり、沿線住民と整備に対する合意形成が必要となる。また、将来の駅周辺の活性化状況や車からバス利用への転換を想定し、当該整備の必要性を検討する。

駐車場の用地取得など関係者との合意形成や駅までの高低差について課題が残る。

(◆：ハード的施策 ●：ソフト的施策) (緑色：実施施策 橙色：検討施策)

3. 高齢者などに優しい駅、鉄道や駅の活性化につながる駅舎

整備時期	施策	内容
短期	●駅舎の清掃	住民ボランティア団体との連携により駅舎などの清掃を実施し、愛される駅づくりをめざす。
短期	◆ホームと列車の段差解消	鉄道利用者の利便性向上や高齢者などの移動の円滑化を図るためのバリアフリー化方策として、ホームと車両の段差を解消するための整備について鉄道会社に働きかけていく。
中期	◆エレベーターの設置 ◆上り線ホームと下り線ホームを結ぶ構内通路の整備	高齢者などの移動の円滑化を図るためのバリアフリー化方策として、階段（跨線橋）を使わずに上り線ホームと下り線ホームの行き来が容易に出来るよう、エレベーター又は構内通路の整備を検討する。
中期	◆駅舎の改装	駅のバリアフリー化を含めた利用者に便利で、人が集まる駅舎をめざして、外観及び内部の改装を検討する。

4. 駅周辺、商店街の活性化

整備時期	施策	内容
短期	◆駅前傾斜地の修景	駅前らしい景観に見劣りするため、傾斜地の整備と植栽の実施、観光案内板などを整備し町の玄関らしさを演出する。
短期	●空き店舗の活用	駅周辺、商店街活性化のため、空き店舗を様々な形で活用する。 【施策案】 ◎いきいきサロンの開設 ◎高齢者の共同作業所の開設 ◎空き店舗を学習塾などに開設する起業者に貸し出す ◎買い物弱者や若者向けの店舗をつくる
長期	◆バイパス整備と駅前道路の歩行者天国	駅前のバスターミナル化など駅を町の交通拠点にするために、駅前道路の歩行者専用化とバイパス化（駅前→山際→仲俣医院バス停付近）を検討する。
長期	◆複合施設の建設	駅を中心に町の交通拠点として確立していくための道路整備やバスのターミナル化にあわせ、複合施設の建設を検討し、にぎわいのある駅周辺のまちづくりをめざす。 【施策案】 ◎高齢者や若者向けの住宅と店舗の複合施設 ◎集約型店舗の建設 ◎公的機関の誘致



今後の取組み課題等

関係するボランティア団体との連携及びその支援が必要になる。

ホームの整備については、関連市町との連携及び鉄道会社との調整が必要である。

エレベーターの設置には利用率や設置費、維持管理費等費用対効果の観点から課題がある。また、構内通路の設置は横断中の安全確保（安全保安員の配置）や関係機関との調整に課題がある。

駅舎の整備については、しなの鉄道(株)との調整が必要である。

（◆：ハード的施策 ●：ソフト的施策）（緑色：実施施策 橙色：検討施策）

今後の取組み課題等

現在、町が推進している、「あじさいプロジェクト」等と連携し取り組んでいくことが必要である。

町と商店街が一体となって、空き店舗活用を検討する。例えば、

- ①商店街のコンセプトの設定
- ②関係者が協働で空き店舗を活用
- ③連携した商品・サービスの展開

駅周辺の町の都市計画の方向性及び関係機関、地域住民及び地権者との調整・協議が必要である。

駅を中心とした交通の拠点づくりとして、道路整備やバスのターミナル化の実現や用地の問題、地域住民との合意形成など当該整備の必要性を検討する。

（◆：ハード的施策 ●：ソフト的施策）（緑色：実施施策 橙色：検討施策）

5. 鉄道と駅の利用促進

整備時期	施策	内容
短期	●利用促進イベントなどの企画	<p>信濃町など関係市町との連携も含め、鉄道・駅の利用促進を図るためのイベント等を行う。</p> <p>【施策案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 県外三セク鉄道の先進地事例の取り入れ ◎ SL 列車の運行など利用促進のイベントを定期的に開催 ◎ 牟礼駅独自の切符を販売 ◎ 駅名に全国公募でキャッチフレーズをつける ◎ 車内に食堂などの飲食が可能な場所を設ける ◎ 車両をペイントする
短期	●駅舎の一部を利活用	<p>駅利用の促進・活性化のため、空きスペース等の利活用をする。</p>
中期	●鉄道の利便性向上	<p>鉄道、駅の利用促進を図るため、鉄道の利便性向上を鉄道会社に働きかける。</p> <p>【施策案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 下り最終電車の延長 ◎ 列車本数の増便（1時間に1便及び早朝6時台の新幹線に接続できる運行体制） ◎ ICカード乗車券の導入
短期	●地域に愛される病院	<p>医師・看護師の確保と地域医療を充実させ、近隣市町からの鉄道利用者の来院増加を図る。</p>
中期	●定期券の補助	<p>しなの鉄道(株)移行後の運賃上昇による保護者負担を抑えるため、定期券通学者への補助を検討する。</p>
長期	◆高齢者や若者向けの賃貸住宅の建設	<p>鉄道の利用促進を図るため、駅周辺に高齢者や若者向けの賃貸住宅の建設を検討する。</p>



今後の取組み課題等

利用促進を継続していくためには、住民主体による活動が重要なことからマイレール応援団を中心に、町や鉄道会社、関係市町との協働及び支援が必要である。

駅舎の利用に関しては、鉄道会社との調整が必要である。

他の沿線市町との調整や、鉄道会社との調整が必要となる。

総合計画後期基本計画に基づき、医療に携わる人の人材確保と医療・看護技術のレベルの向上と安定した病院経営が求められる。

就学者を援助するために定期券を利用している学生に限定する。

まちづくりの方向性を踏まえた中で、将来の駅周辺の位置付け、整備の目標、地域情勢等から当整備の必要性を検討する。

(◆：ハード的施策 ●：ソフト的施策) (緑色：実施施策 橙色：検討施策)



問い合わせ先

飯綱町役場企画財政課企画係

〒389-1293 上水内郡飯綱町大字牟礼2795-1
TEL 026-253-2511 FAX 026-253-5055
E-mail kikaku@town.iizuna.nagano.jp